

第二期 長岡京市

都市計画マスタープラン

2016-2030

概要版

長岡京市

都市づくりの課題

安全・安心に関する課題

- ★市街地における集中豪雨に対する水害対策
- ★西山山麓における住宅地付近での土砂災害防止対策
- ★災害時の緊急輸送などに対応できる道路整備
- ★中心部における幅員の狭い道路が多い地区の防災対策
- ★公共交通の利便性の向上や、誰もが安全に通行できる歩行空間の確保

都市の活性化に関する課題

- ★市全体の人口減少への対応、地区毎の年齢構成の変化への対応
- ★公共公益施設の老朽化と耐震化への対応
- ★阪急長岡天神駅周辺の交通施設整備と併せた中心部の活性化
- ★阪急西山天王山駅・長岡京I Cを活かした活性化

自然環境や住環境に関する課題

- ★市街地にうるおいを与える緑地の確保
- ★農地の転用などが見られる山麓住宅ゾーンでの自然環境の保全
- ★市街化調整区域における周辺農地に配慮した土地利用
- ★市民一人当たりの都市公園面積が小さいことへの対応
- ★環境負荷の軽減
- ★工業ゾーンにおける住宅開発に伴う住工共存

資源の活用に関する課題

- ★歴史資源を活かした魅力づくり
- ★価値ある景観の保全と魅力的な景観形成
- ★市民ニーズを踏まえ、利便性と快適性を考慮した環境形成
- ★家屋の老朽化、空き家など、住宅地区の状況に応じた対策による魅力の再生

都市づくりの理念

～訪れたい、住みたい、住み続けたい～

みどり・歴史・ひとの織りなす にぎわいとるおいの 長岡京

豊かなみどりと歴史に育まれた
住み心地の良い環境を活かし、
これにひとの活動がまちの新たな魅力を生むことで本市に定住の流れを起こす、
「みどり」「歴史」「ひと」の織りなす
にぎわいとるおいのある
まちを目指します。

この理念に基づく方針として、
「環境」「交流」「安全」「ひと」
に着目した4つの方針を
設定します。

都市づくりの方針



「環境」「交流」「安全」
の方針に基づく
まちづくりの取り組みが、
平成42年度には
大きな実を实らせます。



都市づくりの方向

今まで進めてきた整備を活かし、市内中心部の利便性や快適性の確保、地域間の公共交通ネットワークづくりの充実を図ります。

平成13年度～平成27年度

平成28年度～平成42年度

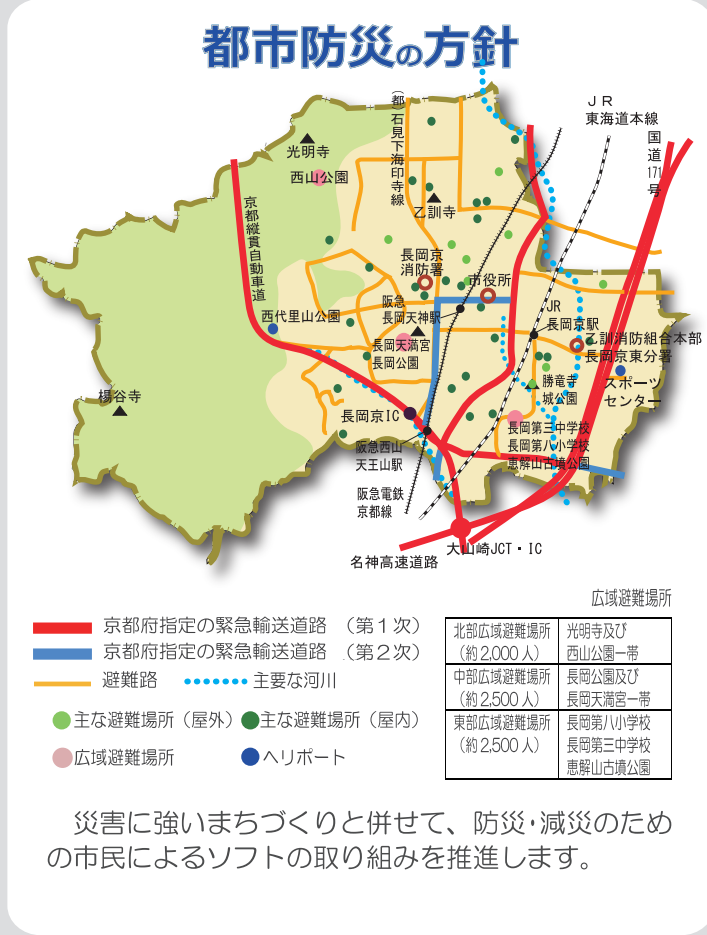
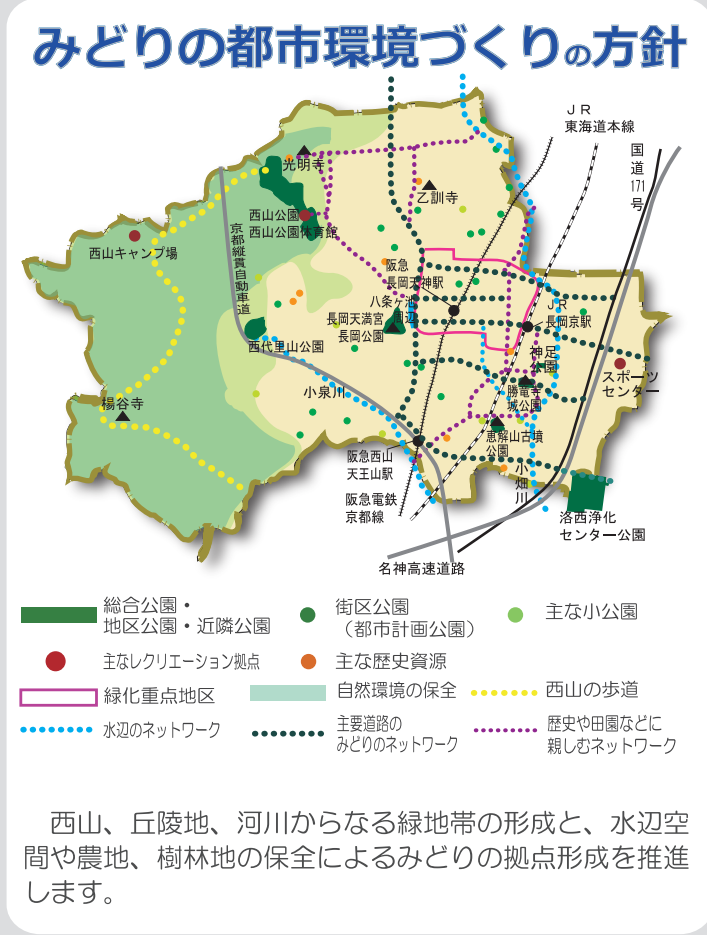
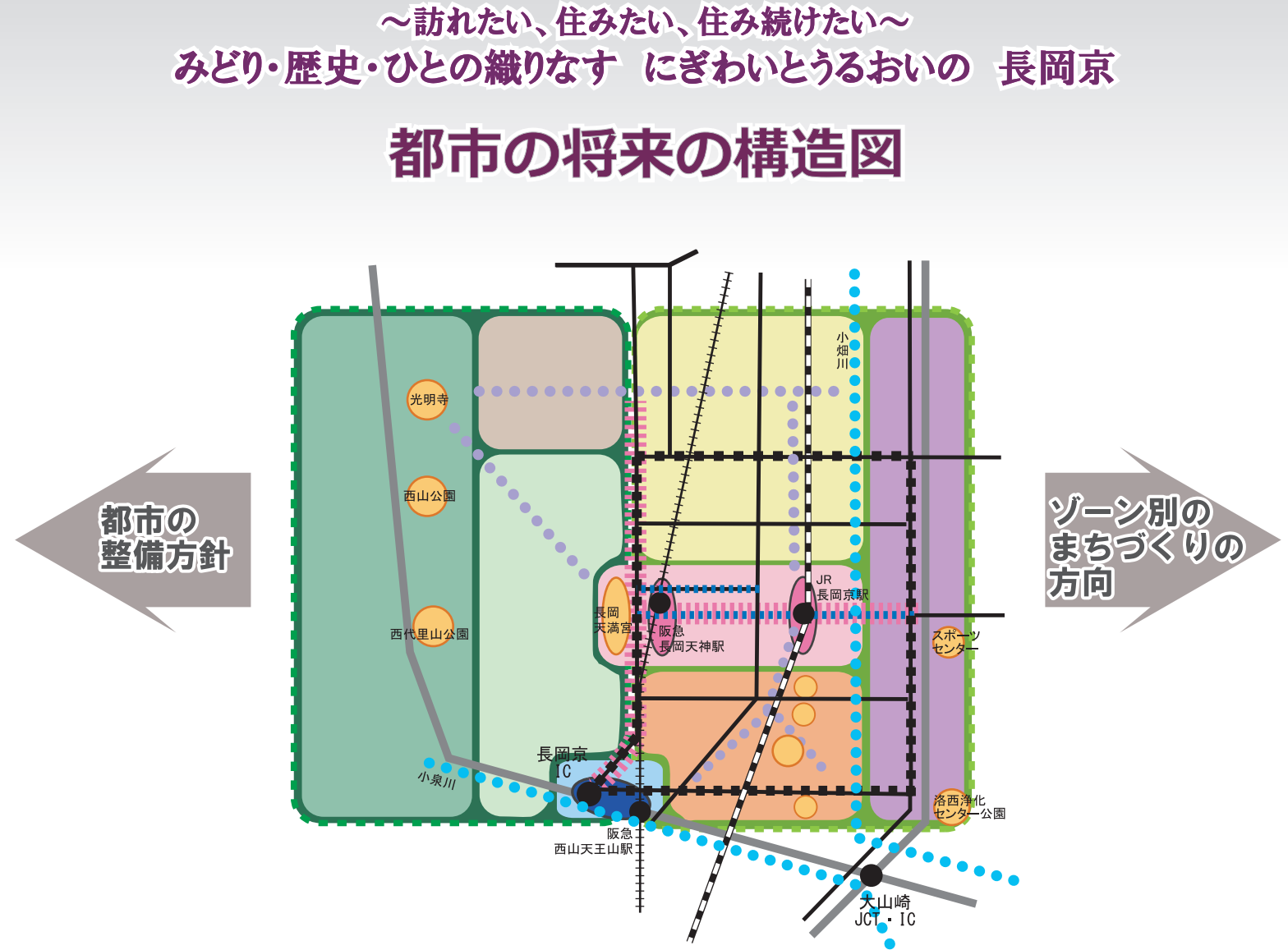
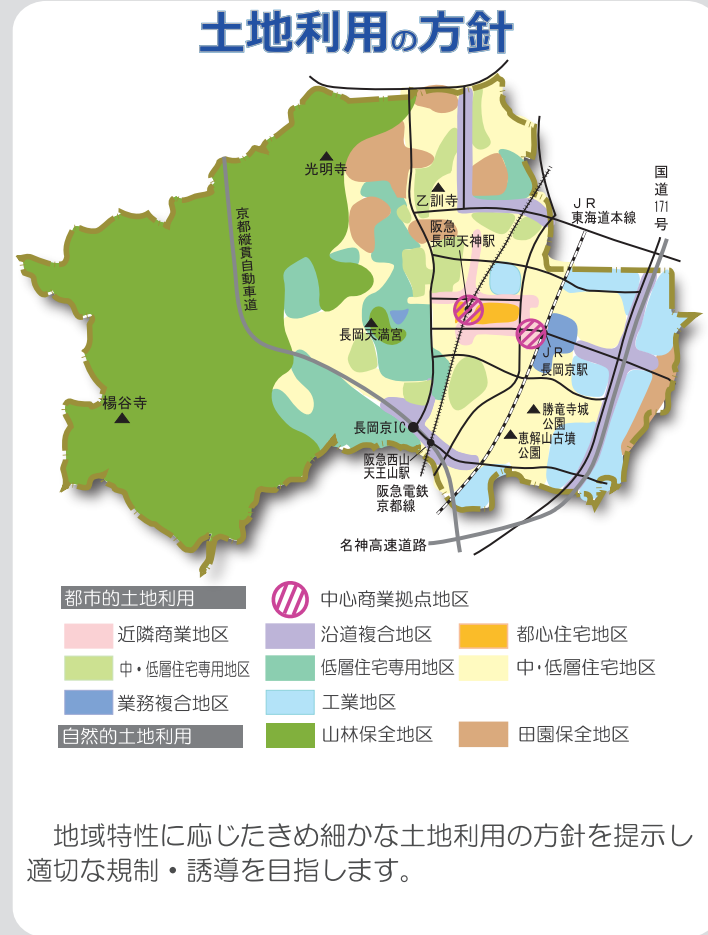


市街地の利便性・快適性確保
地域間ネットワークの充実



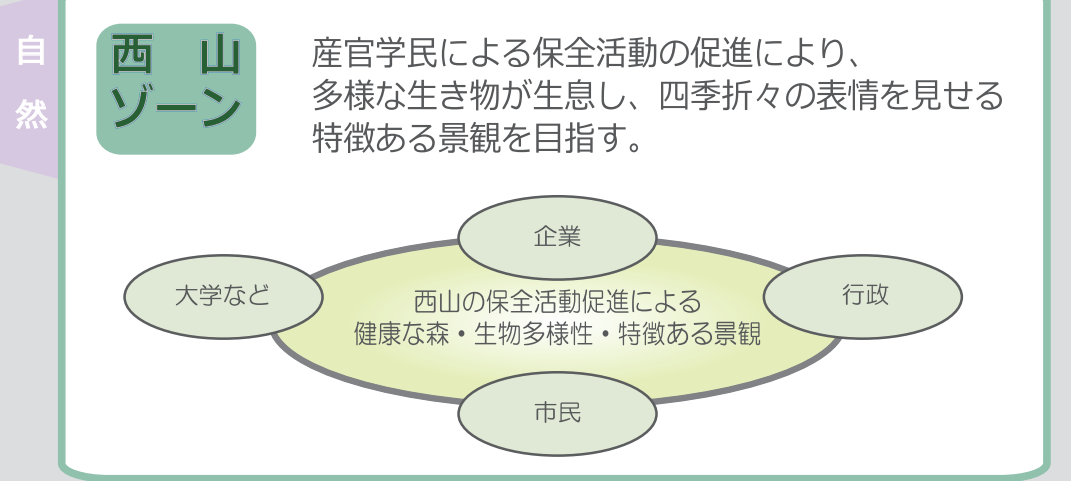
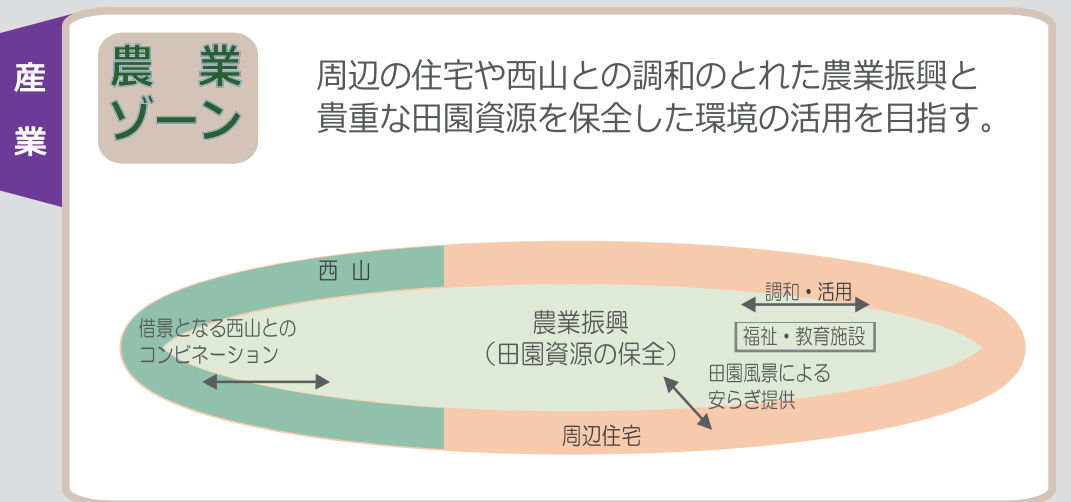
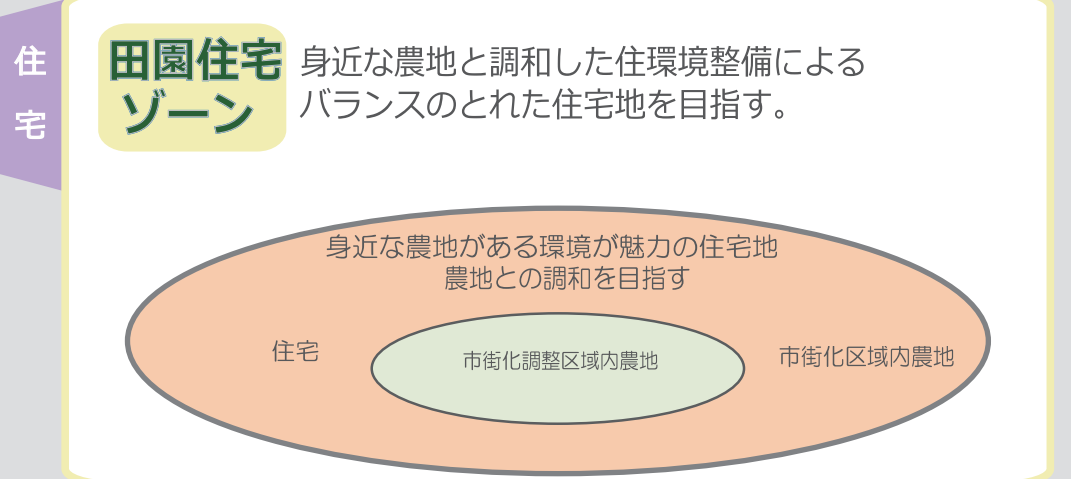
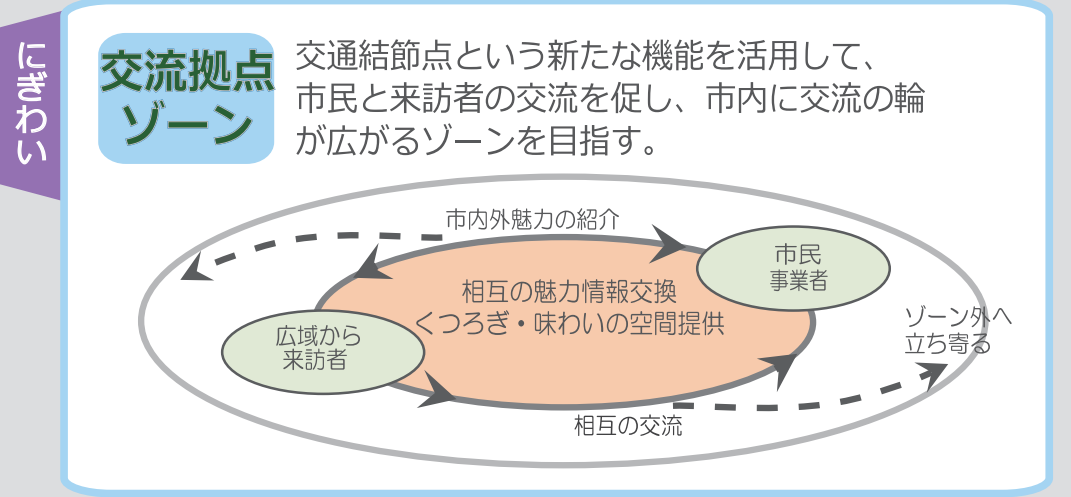
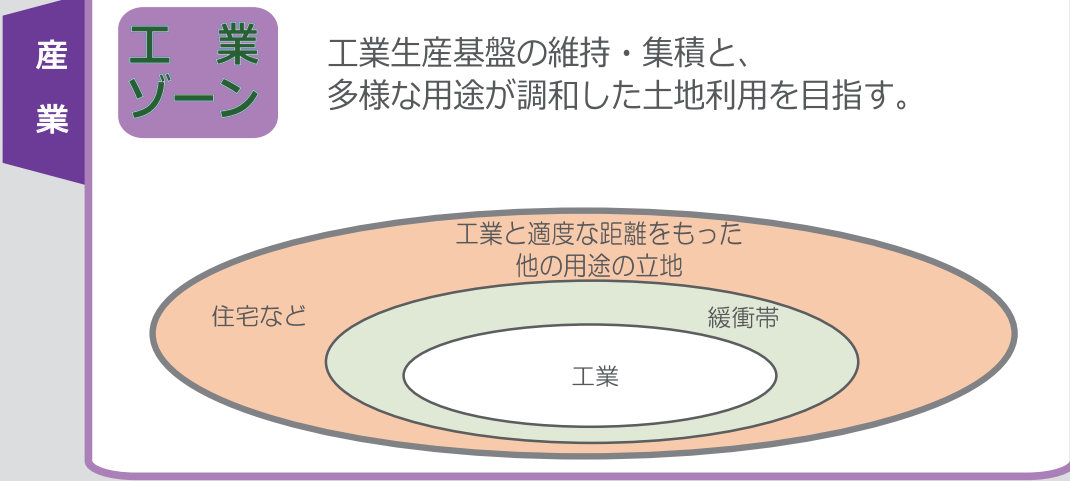
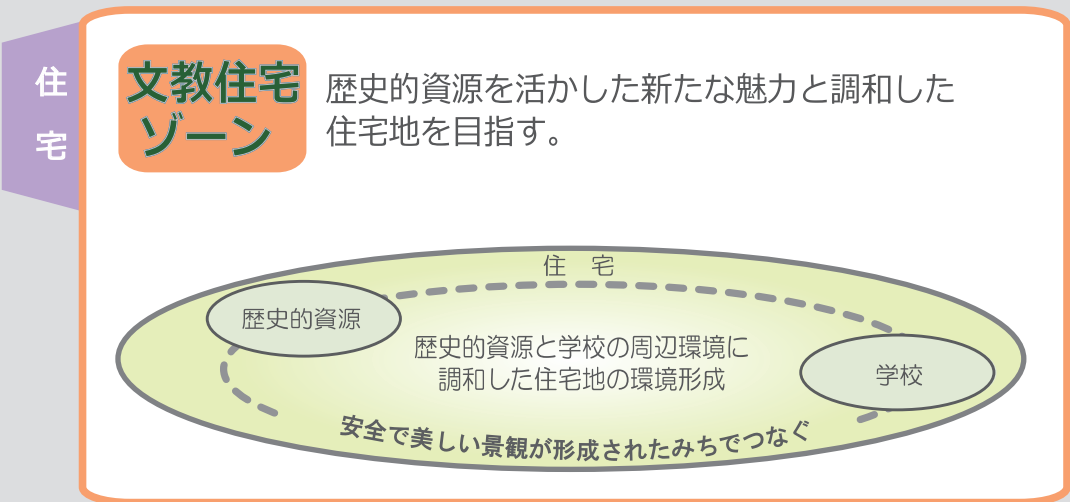
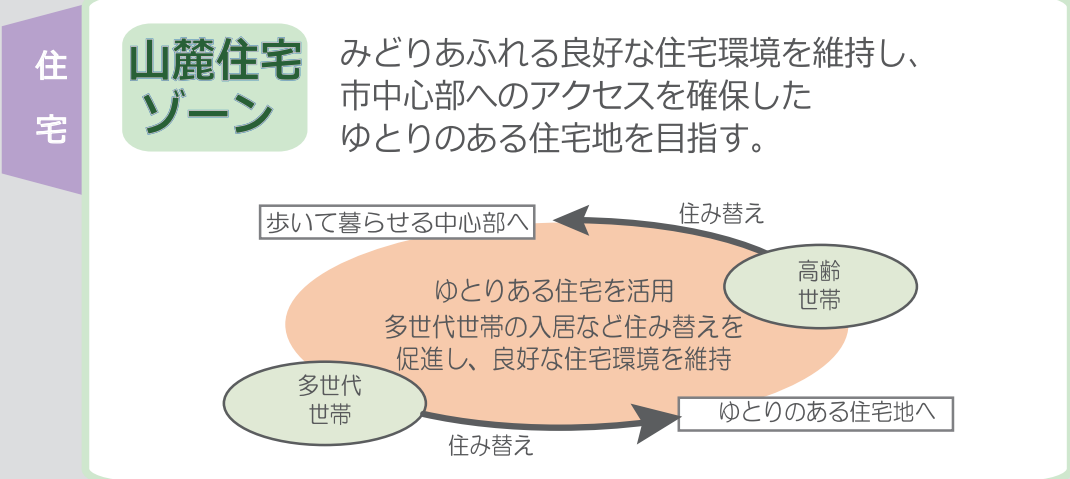
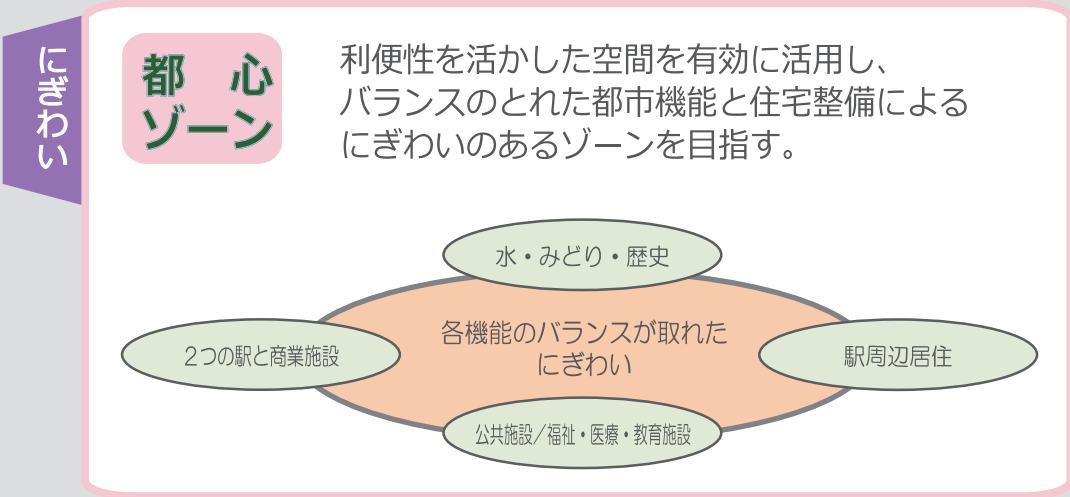
主な施策

- ① 阪急長岡天神駅周辺を含めた中心部の整備
- ② 阪急西山天王山駅周辺を含めた南部地域の有効な土地利用の展開
- ③ 市内土地利用に応じた用途地域などの見直し
- ④ 市街化調整区域として良好な農業環境と景観の保全を含めた北部地域の活用
- ⑤ 空き家の対策と活用



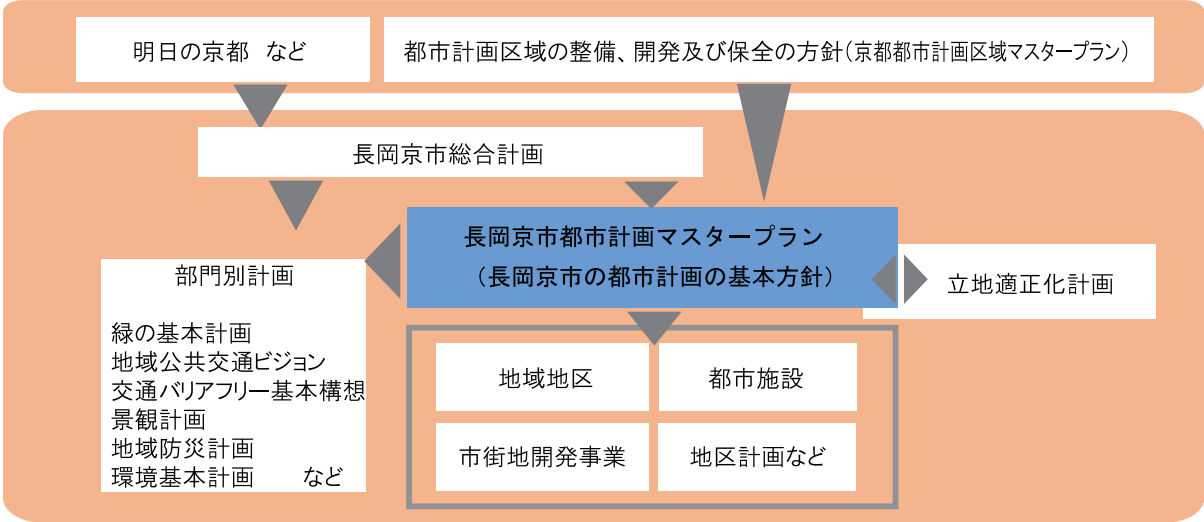
ひとにやさしい都市整備の方針

高齢者や子育て世代など誰もが暮らしやすいまちを目指して、ユニバーサルデザインや福祉の視点でのまちづくりを進めます。また、交流による活性化に向けて、来訪者にも親切的な誰にでも分かりやすい情報発信を進めます。



関連計画の位置づけ

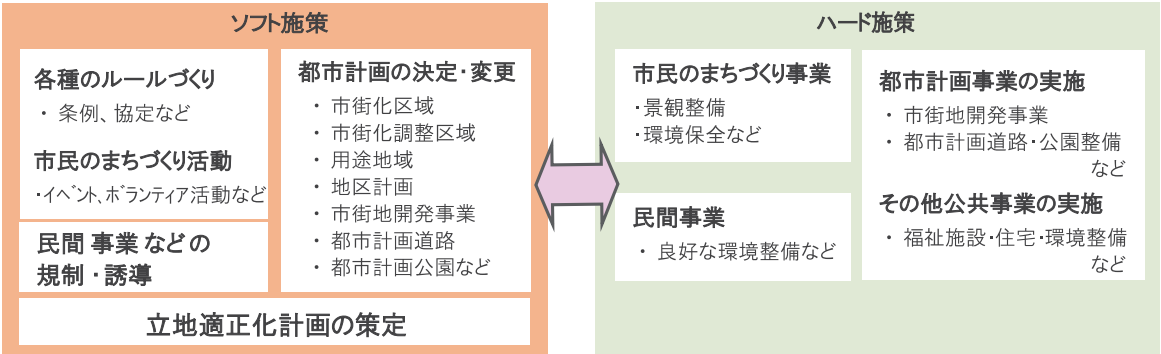
本プランは、京都府知事が定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、本市のまちづくりの方針である「長岡京市総合計画」など関連分野の諸計画と連携しながら、都市計画の分野に関する事項の方針を示す計画として位置づけられます。本プラン策定後には立地適正化計画を策定し、この2つの計画を両輪として、今後の本市のまちづくりに取り組みます。



都市づくりの実現に向けて

今後、ハード・ソフト両面にわたる各種まちづくり事業の具体化と計画的・段階的な整備・実現を図ります。

各種まちづくり施策の推進



市民・事業者・行政の協働・連携

